

## **IV アンケート調査結果の概要**

## IV アンケート調査結果の概要

### (1) 歯磨きについて

毎日歯を磨く者の割合は、97%であり、その中で毎日3回以上磨く者は、男性が17.5%で女性が33.2%であった。

歯磨きの時間については、1～3分以内の人が60.6%で、1分以内の人は18.9%であった。前回調査に比べて毎日2回、毎日3回以上磨く者が増加傾向にある。

性別で比較すると、女性の方が男性に比べて毎食後に磨く者が多い。

### (2) 歯磨き剤について

歯磨き剤の使用者率は、92.5%の者が使用している。その中でフッ素入りを使用している者は35.9%で、わからないと回答した者は51.1%であった。「フッ化物配合歯磨き剤」がう蝕予防に有効であるという観点から今後、普及啓発の必要性がある。

### (3) 歯間清掃用具について

全体の約6割の者が歯間清掃用具を使用していない。

デンタルフロスの使用者率は12.8%で、歯間ブラシは15.6%である。

### (4) かかりつけ歯科医について

かかりつけ歯科医を決めている者は、59.8%である。また、かかりつけ歯科医で定期健診をうけている者は27.0%である。

### (5) かむ力について

あまり噛めない、噛みにくいものがある者は、全体の約3割である。

性別で比較すると、噛みにくいものがあると回答した者は、男性より女性の方が3.3ポイント高い率を示した。

### (6) 喫煙について

男性の喫煙率は32.2%で、女性は5.7%であった。男女とも30歳代の喫煙率が、最も高い率を示した。また、女性については、若年層の喫煙率が高い。

### (7) 歯や口の状態について

歯や口についての悩みを持っている者は、全体の約7割である。

最も多い悩みは、「食べ物や歯と歯にはさまる」であり47.0%である。

歯間部清掃用具（デンタルフロス・歯間ブラシ等）の使用について普及推進が必要である。

# 1. 歯磨きについて

## 1) 歯磨きの回数・時間について

本県の歯磨き状況を見ると97%の者が歯磨きを実施している。毎日2回歯を磨く者が、最も多く46.5%である。前回調査に比べて、毎日2回、毎日3回以上磨く者が増加傾向にある。

〔1日何回歯を磨きますか〕

(単位：%)

	総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
毎日1回	25.2	15.6	17.3	26.1	34.0	25.1	41.1	26.1
毎日2回	46.3	55.8	54.1	48.2	40.6	42.6	29.3	33.6
毎日3回以上	25.1	25.3	27.2	23.6	23.9	28.5	20.7	29.9
時々磨く	2.6	1.9	1.2	1.6	1.2	2.7	7.6	6.7
磨かない	0.5	0.8	0.0	0.2	0.0	0.8	0.7	3.0
無回答	0.4	0.6	0.2	0.4	0.2	0.4	0.7	0.7

前回調査との比較（無回答を除外して再計算）

鳥取H12

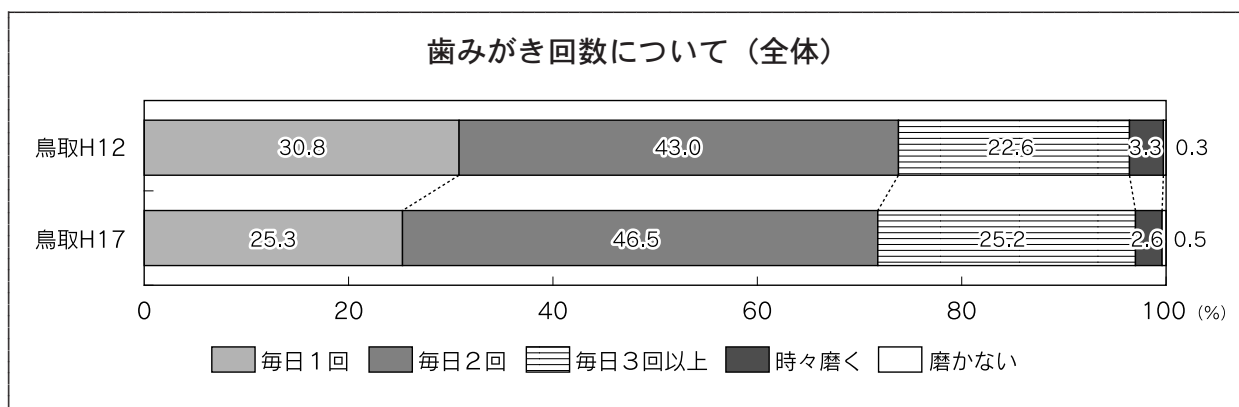
(単位：%)

	総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
毎日1回	30.8	18.5	21.0	31.5	36.4	37.8	42.2	43.4
毎日2回	43.0	47.7	49.9	45.7	41.1	41.8	29.1	27.7
毎日3回以上	22.6	30.3	27.1	21.9	19.6	17.4	20.6	19.3
時々磨く	3.3	3.6	1.8	0.9	2.7	3.8	7.0	8.4
磨かない	0.3	0.0	0.2	0.0	0.2	0.2	1.2	1.2

鳥取H17

(単位：%)

	総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
毎日1回	25.3	15.7	17.4	26.2	34.1	25.2	41.4	26.3
毎日2回	46.5	56.1	54.2	48.4	40.7	42.7	29.5	33.8
毎日3回以上	25.2	25.4	27.2	23.7	24.0	28.6	20.9	30.1
時々磨く	2.6	1.9	1.2	1.6	1.2	2.7	7.6	6.8
磨かない	0.5	0.8	0.0	0.2	0.0	0.8	0.7	3.0



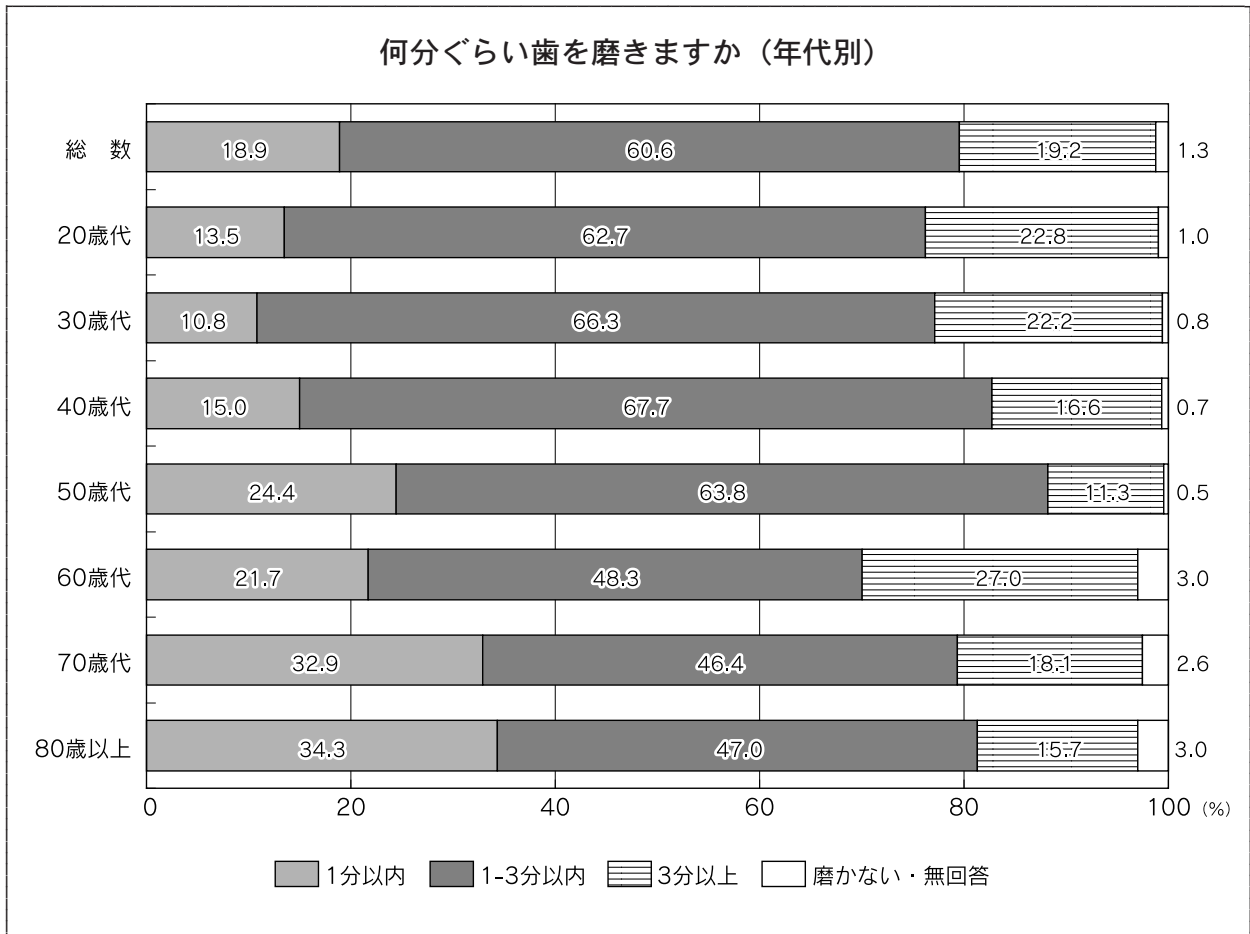
歯みがき回数の比較

(単位：%)

	毎日1回	毎日2回	毎日3回以上	時々磨く	磨かない
鳥取（H12）	30.8	43.0	22.6	3.3	0.3
鳥取（H17）	25.3	46.5	25.2	2.6	0.5

〔歯みがきの時間について〕

全体の60.6%の者が、1～3分以内かけて歯を磨いている。前回調査に比べて、1～3分以内、3分以上歯を磨いている者が増加した。また、3分以上磨く者では、60歳代が最も高い伸び率を示した。



(単位：%)

	総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
1分以内	18.9	13.5	10.8	15.0	24.4	21.7	32.9	34.3
1～3分以内	60.6	62.7	66.3	67.7	63.8	48.3	46.4	47.0
3分以上	19.2	22.8	22.2	16.6	11.3	27.0	18.1	15.7
磨かない・無回答	1.3	1.0	0.8	0.7	0.5	3.0	2.6	3.0

前回調査との比較（無回答を除外して再計算）

鳥取H12

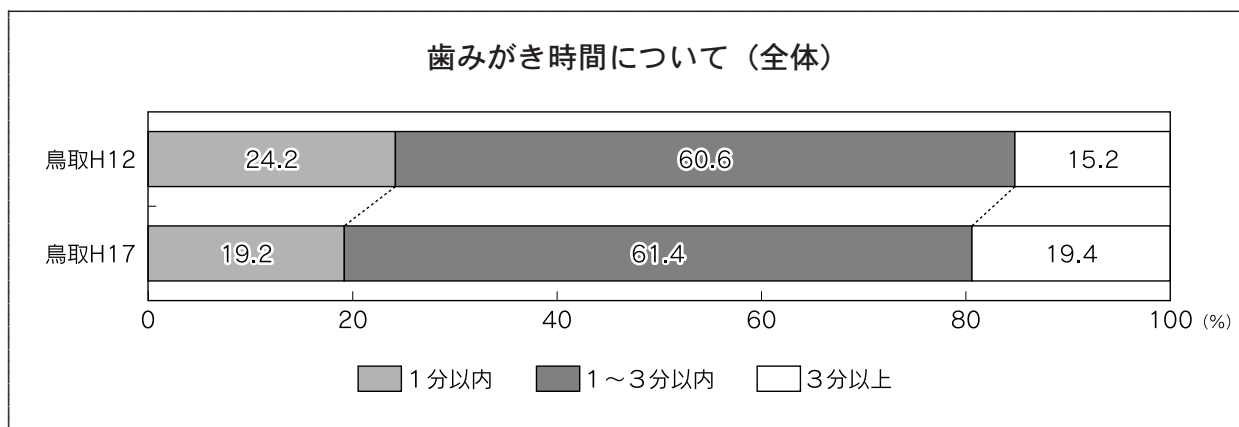
(単位：%)

	総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
1分以内	24.2	11.4	15.9	22.6	27.3	30.1	38.3	48.2
1～3分以内	60.6	69.3	65.1	62.1	60.4	56.3	50.7	39.5
3分以上	15.2	19.3	19.1	15.3	12.3	13.6	11.0	12.4

鳥取H17

(単位：%)

	総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
1分以内	19.2	13.6	10.9	15.1	24.5	22.4	33.8	35.4
1～3分以内	61.4	63.4	66.8	68.2	64.1	49.8	47.6	48.5
3分以上	19.4	23.0	22.3	16.7	11.4	27.8	18.6	16.2

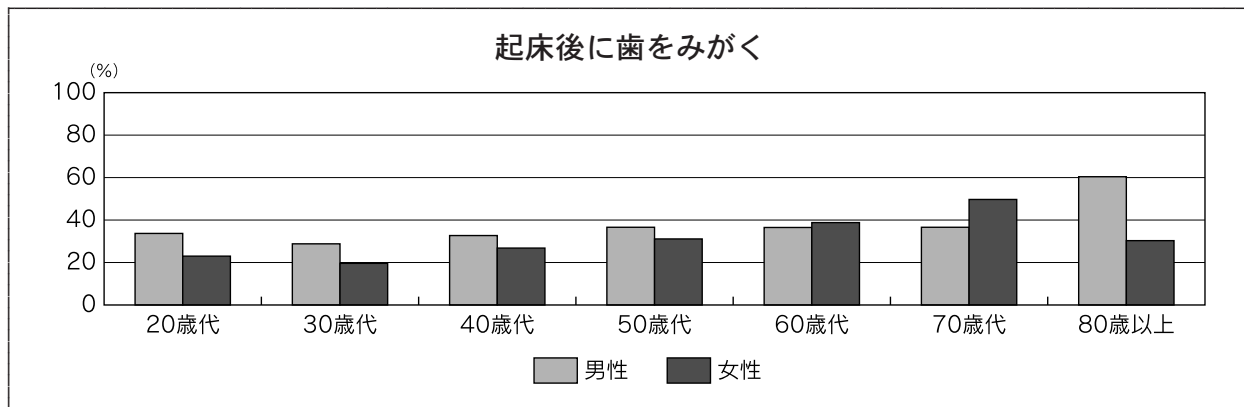


歯みがき時間の前回調査との比較

(単位：%)

	1分以内	1～3分以内	3分以上
鳥取 (H12)	24.2	60.6	15.2
鳥取 (H17)	19.2	61.4	19.4

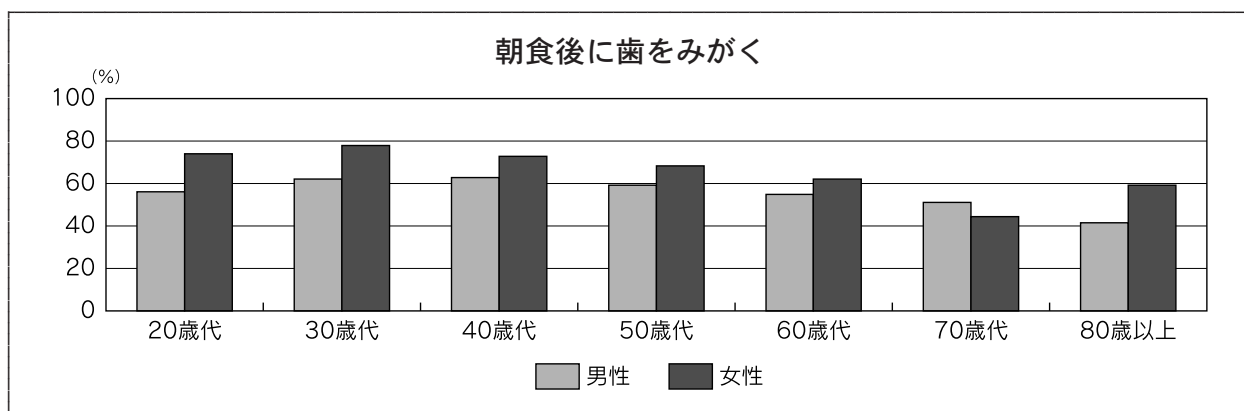
〔いつ歯を磨きますか〕複数回答



起床後

(単位：%)

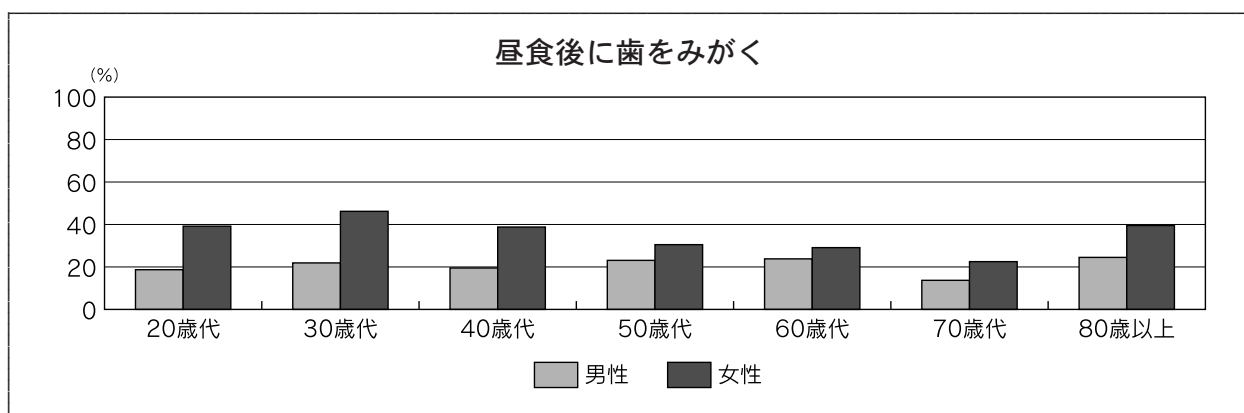
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男性	33.7	28.8	32.7	36.6	36.5	36.6	60.4
女性	23.0	19.6	26.8	31.1	38.8	49.7	30.3



朝食後

(単位：%)

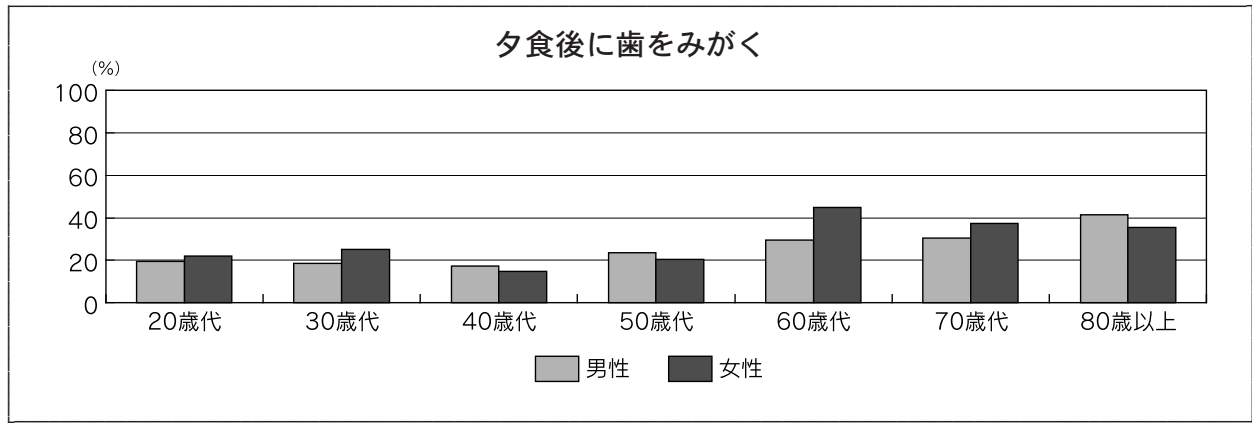
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男性	56.1	62.1	62.8	59.2	54.8	51.1	41.5
女性	74.0	77.9	72.8	68.3	61.9	44.4	59.2



昼食後

(単位：%)

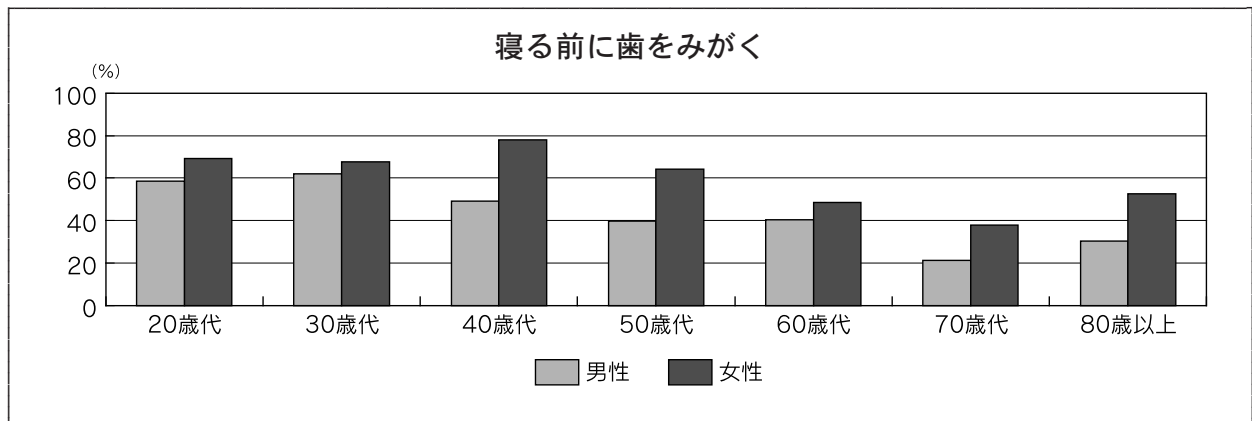
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男性	18.7	21.9	19.5	23.1	23.8	13.7	24.5
女性	39.2	46.2	38.8	30.5	29.1	22.5	39.5



#### 夕 食 後

(単位：%)

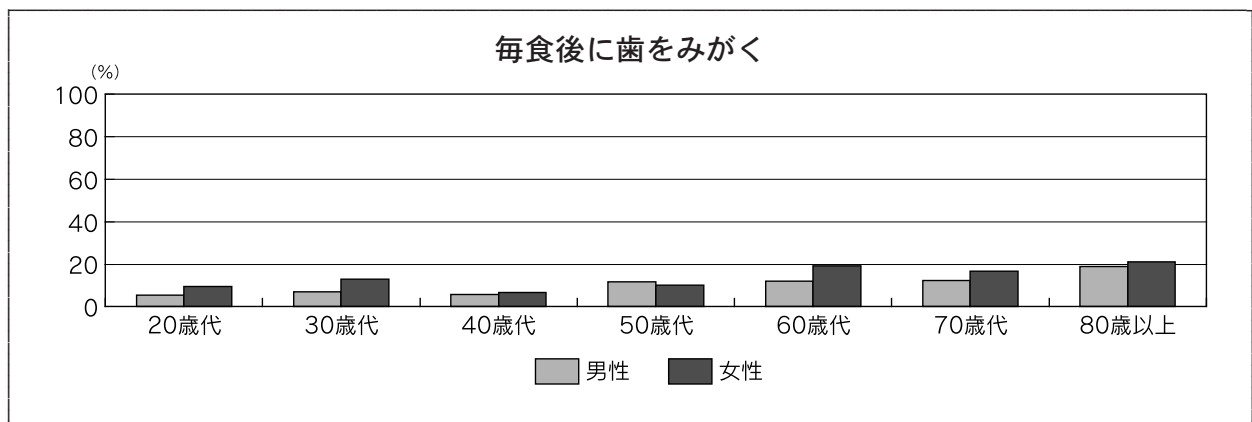
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男 性	19.5	18.5	17.4	23.5	29.4	30.5	41.5
女 性	21.9	25.1	14.7	20.4	44.8	37.3	35.5



#### 寝 る 前

(単位：%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男 性	58.5	62.1	49.2	39.9	40.5	21.4	30.2
女 性	69.1	67.8	78.1	64.1	48.5	37.9	52.6



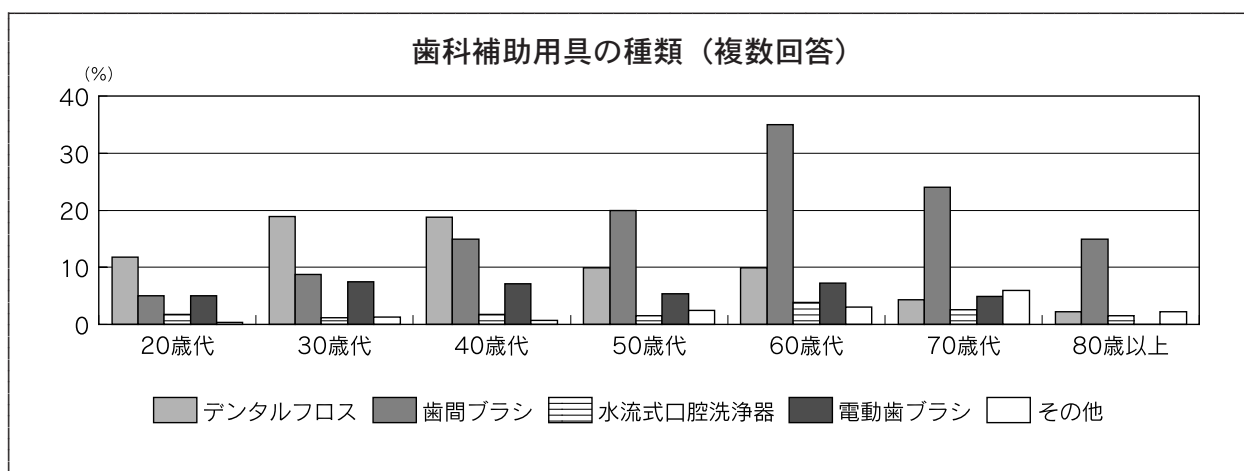
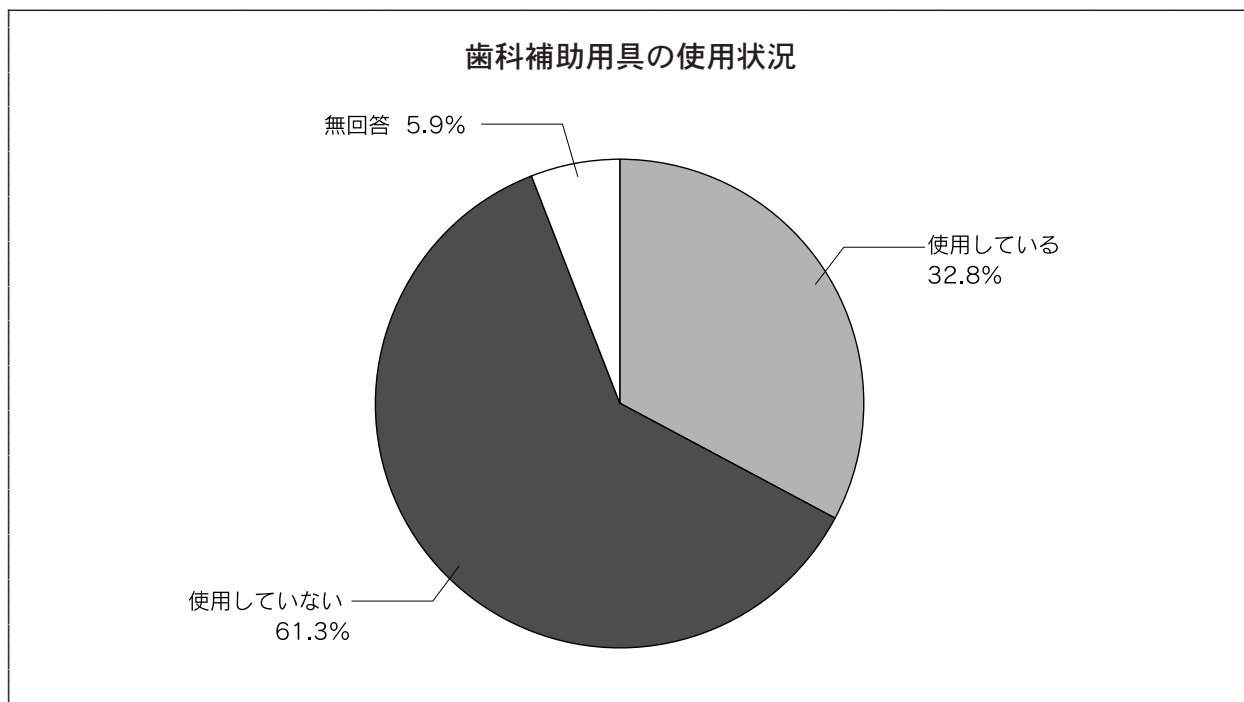
#### 毎 食 後

(単位：%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男 性	5.3	6.9	5.7	11.8	11.9	12.2	18.9
女 性	9.4	13.1	6.7	10.2	19.4	16.6	21.1

## 2) 歯科補助用具の使用について

歯科補助用具を使用している者は、32.8%であった。デンタルフロスの使用率は、12.8%で、歯間ブラシは、15.6%であった。歯間ブラシの使用率は、60歳代が最も高い率を示した。



[歯ブラシ以外に何か使っていますか] 複数回答

(単位：%)

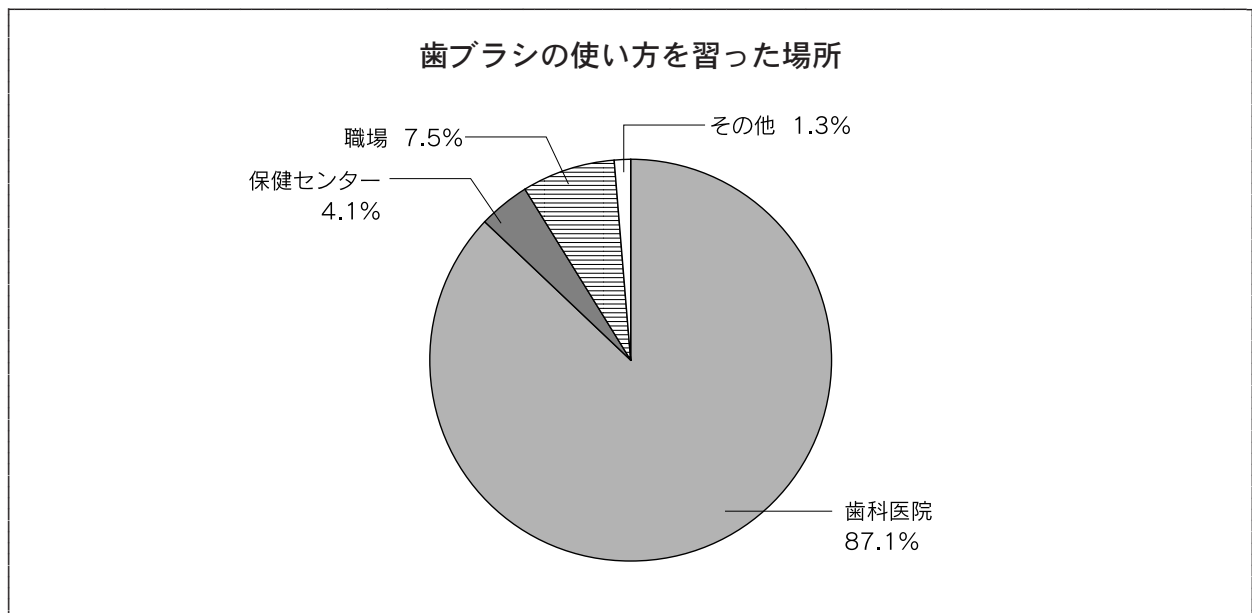
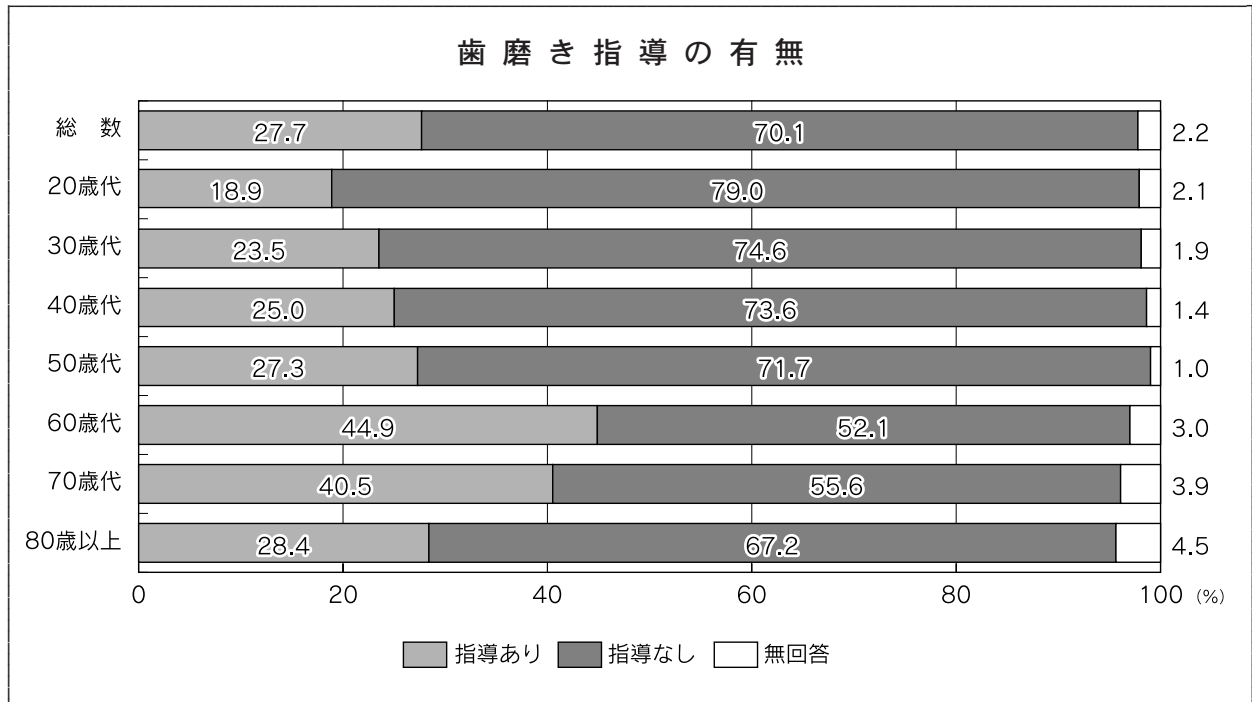
	総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
デンタルフロス	12.8	11.8	18.9	18.8	9.9	9.9	4.3	2.2
歯間ブラシ	15.6	5.0	8.7	15.0	20.0	35.0	24.0	14.9
水流式口腔洗浄器	1.9	1.7	1.2	1.8	1.5	3.8	2.6	1.5
電動歯ブラシ	6.0	5.0	7.5	7.1	5.4	7.2	4.9	0.0
その他	1.9	0.4	1.3	0.7	2.5	3.0	5.9	2.2
使用していない	61.3	75.7	64.9	59.6	60.1	44.5	48.7	63.4
無回答	5.9	2.5	3.5	4.5	3.9	8.4	14.5	16.4

つまようじ 10、義歯洗浄剤 4、義歯ブラシ、ポリドント、ガム、糸ようじ、舌ブラシ各2  
デンタルリンス、歯垢取り 各1



### 3) 歯ブラシの使い方について

歯磨き指導を受けた者は、27.7%である。そのうち、87.1%の者が、歯科医院で習っている。

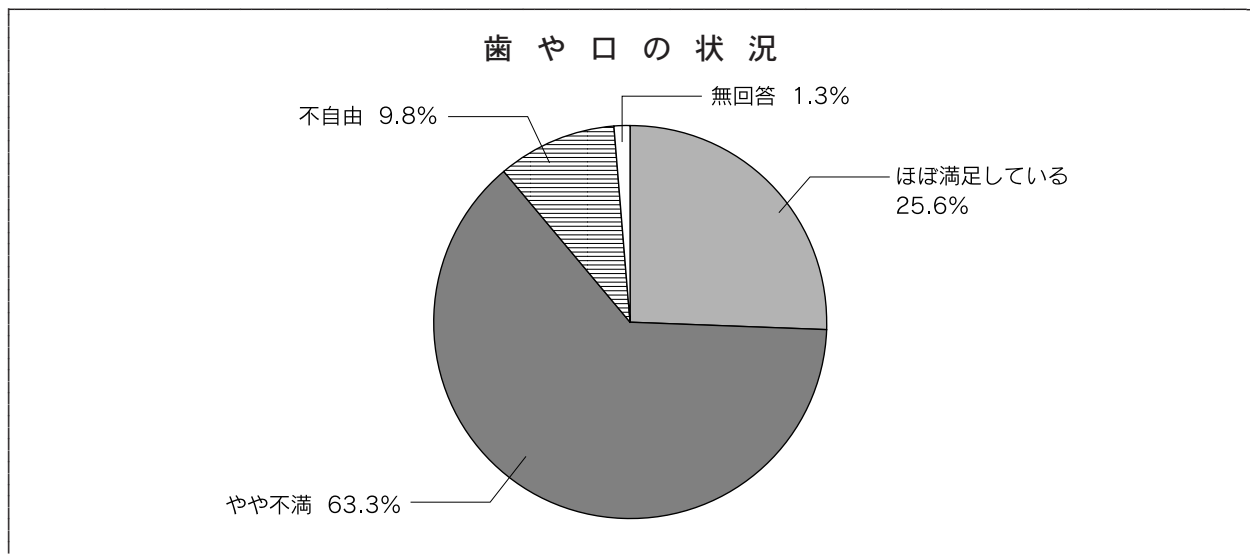


[歯ブラシの使い方を習ったことがありますか]

(単位：%)

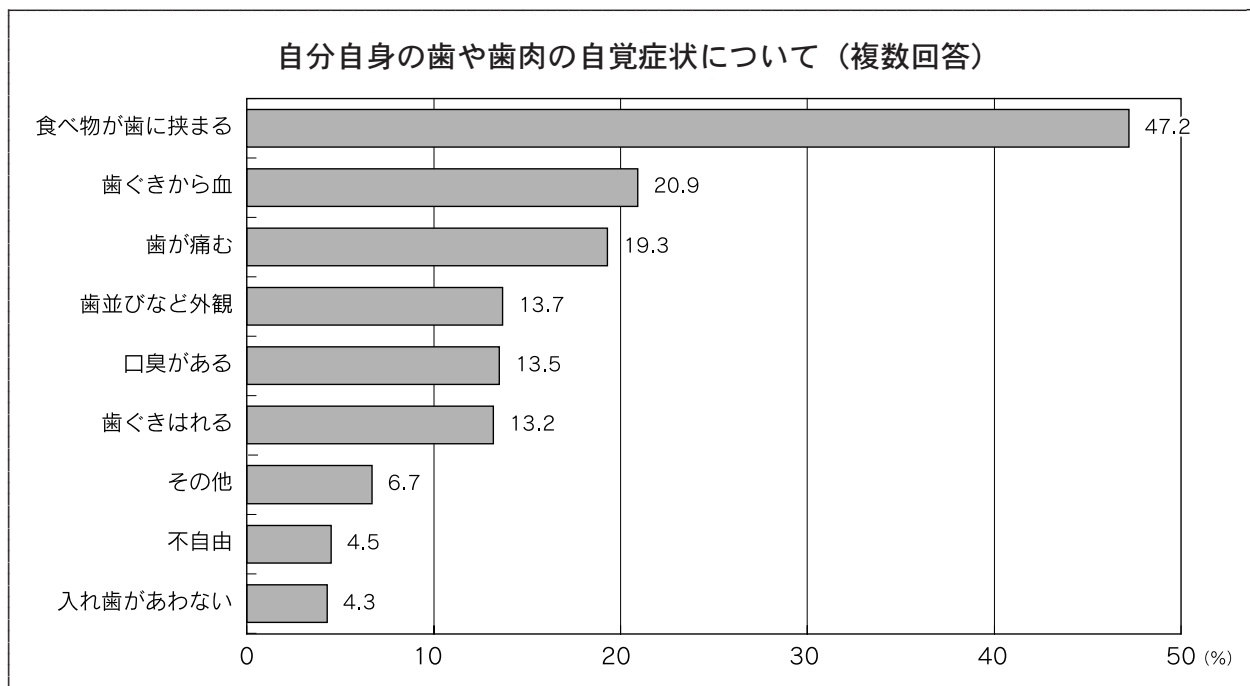
	総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
歯科医院	24.1	16.0	18.1	20.4	25.1	43.7	36.5	25.4
保健センター	1.1	0.8	1.2	1.1	1.0	0.4	2.6	1.5
職場	2.1	1.9	4.0	3.2	1.2	0.4	0.3	0.0
その他	0.4	0.2	0.2	0.4	0.0	0.4	1.0	1.5
指導なし	70.1	79.0	74.6	73.6	71.7	52.1	55.6	67.2
無回答	2.2	2.1	1.9	1.4	1.0	3.0	3.9	4.5

## 2. 自分自身の歯や歯ぐきの状態について



### [現在のあなたの歯や歯肉の自覚症状について]

歯や口について悩みを持っている者は、約7割あり最も多い悩みは、「食べ物が歯に挟まる」である。



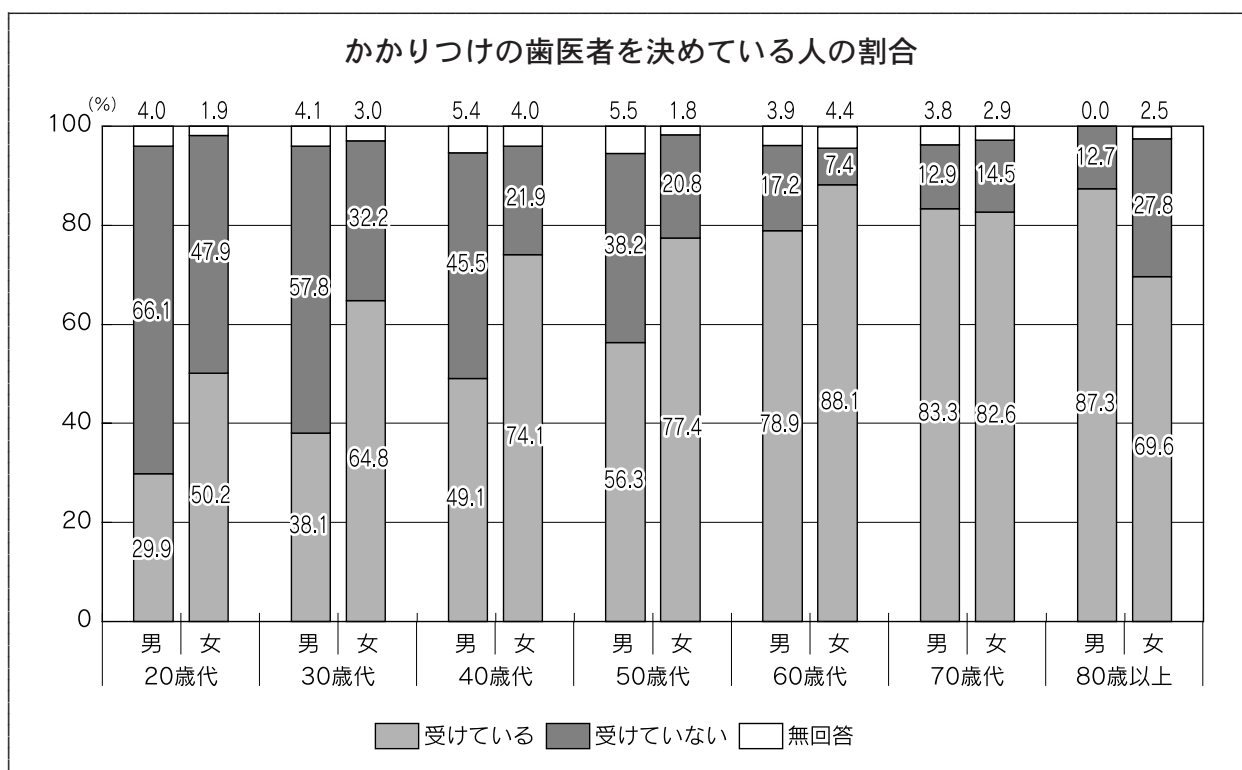
(単位：%)

	総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
歯が痛む	19.3	25.9	20.4	20.2	20.9	16.7	10.2	6.7
歯ぐきから血	20.9	22.2	21.0	25.9	24.1	20.5	10.2	9.7
歯ぐきはれる	13.2	8.3	11.0	15.9	14.3	19.8	12.8	14.9
口臭がある	13.5	8.3	11.4	16.1	24.9	16.3	7.2	5.2
食べ物に挟まる	47.2	31.9	43.2	56.8	62.3	51.0	45.1	34.3
不自由	4.5	1.0	1.0	2.7	7.1	9.5	10.9	6.7
歯並びなど外観	13.7	21.0	19.1	11.4	11.8	9.1	6.6	4.5
入れ歯があわない	4.3	0.0	0.0	0.7	4.2	7.6	17.1	17.2
その他	6.7	7.9	7.9	5.0	7.4	5.3	6.6	4.5

### 3. 歯の健康のために注意していることについて

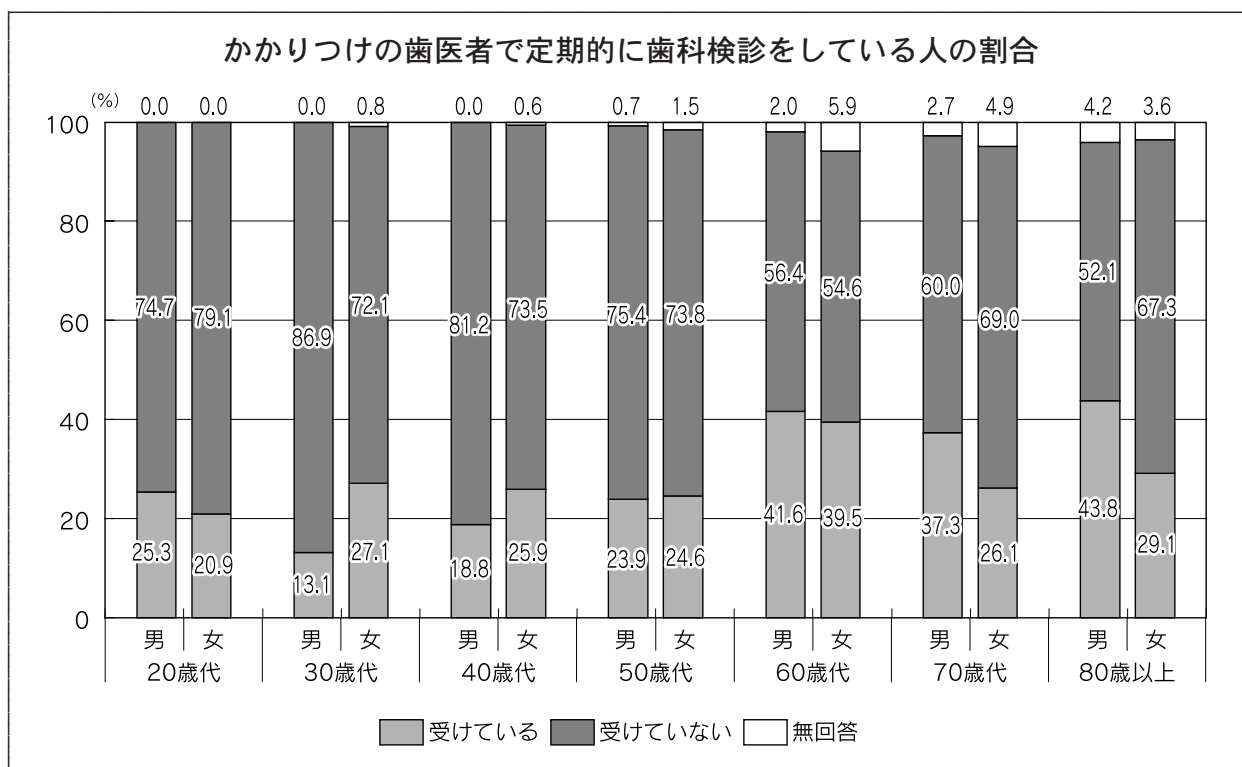
#### かかりつけの歯医者を決めているか

かかりつけの歯医者を決めている者は、59.8%であり年齢が高くなるにつれ増加傾向にある。



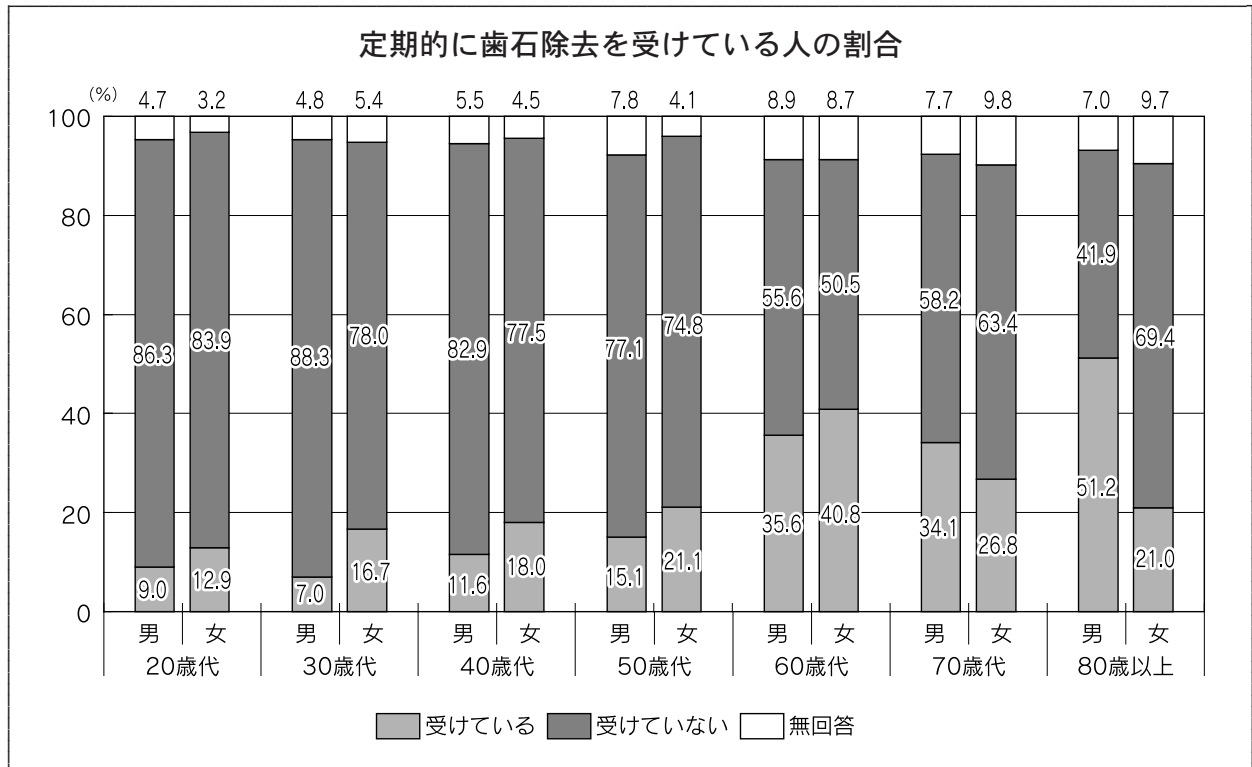
#### かかりつけの歯医者で定期的に歯科検診を受けていますか (かかりつけの歯医者がある1,630人の結果)

定期的に歯科検診をしている者の割合は、27%である。60歳代が最も高い率を示している。



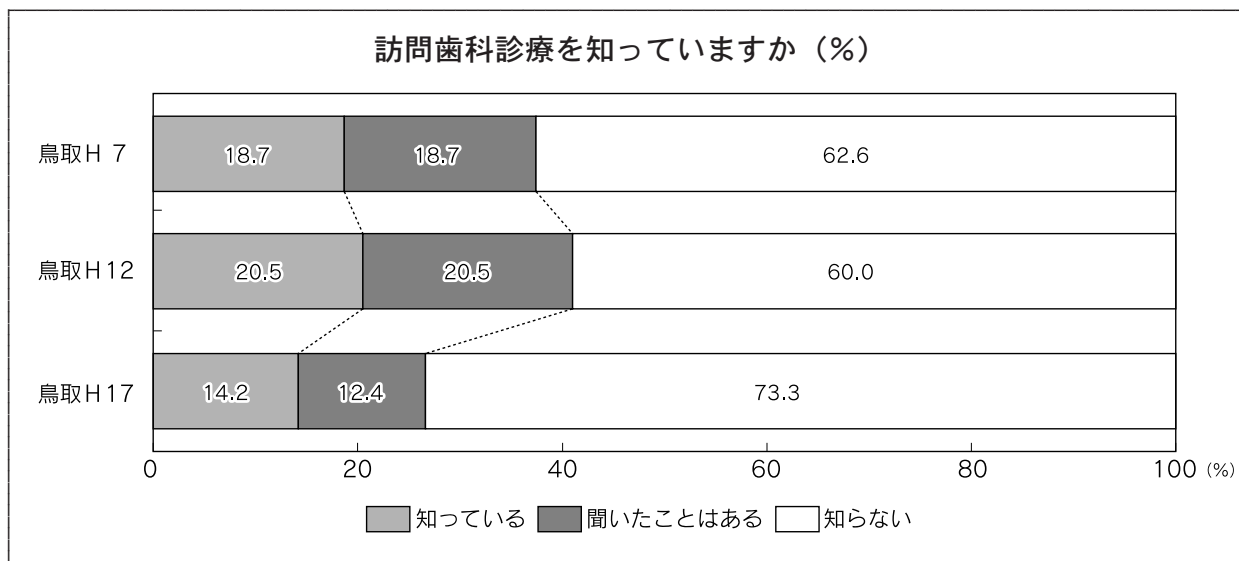
### 定期的に歯石除去や歯面掃除を受けていますか

定期的に受けている者は、18.0%であり、受けていない者は、76.1%であった。



#### 4. 高齢者歯科対策推進事業について

前回調査に比べて、知っているが6.3ポイント、聞いたことはある者が8.1ポイント減少した。

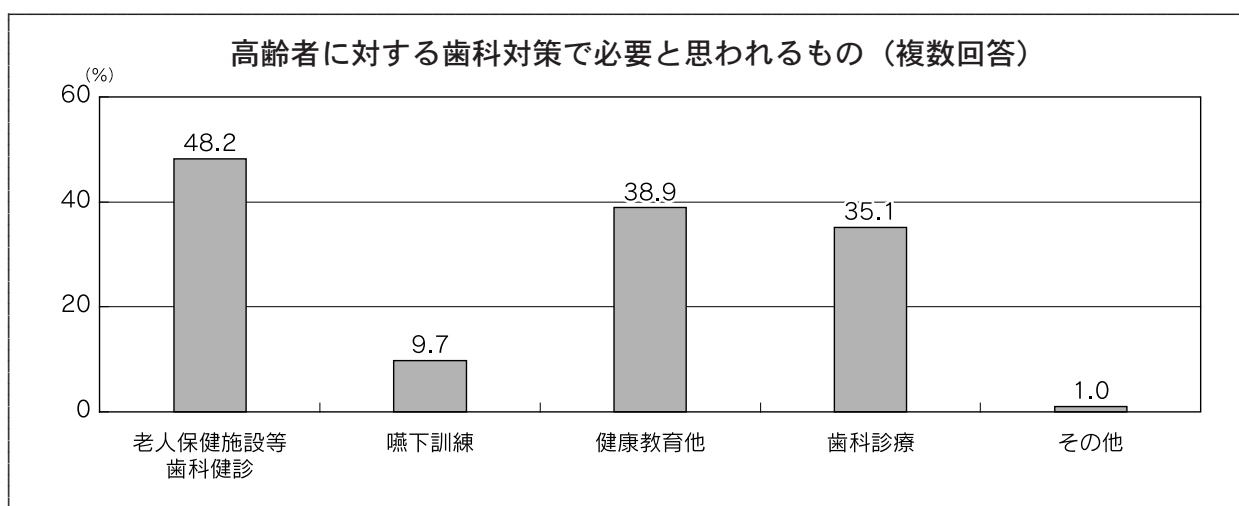


「訪問歯科診療」を知っていますか (割合：無回答を除く)  
(単位：%)

	知っている	聞いたことはある	知らない
鳥取 (H 7)	18.7	18.7	62.6
鳥取 (H12)	20.5	20.5	60.0
鳥取 (H17)	14.2	12.4	73.3

#### 高齢者に対する歯科対策について必要だと思うもの (複数回答)

老人保健施設等の歯科健診が、48.2%で最も必要と思われる。次いで、健康教育他、歯科診療である。

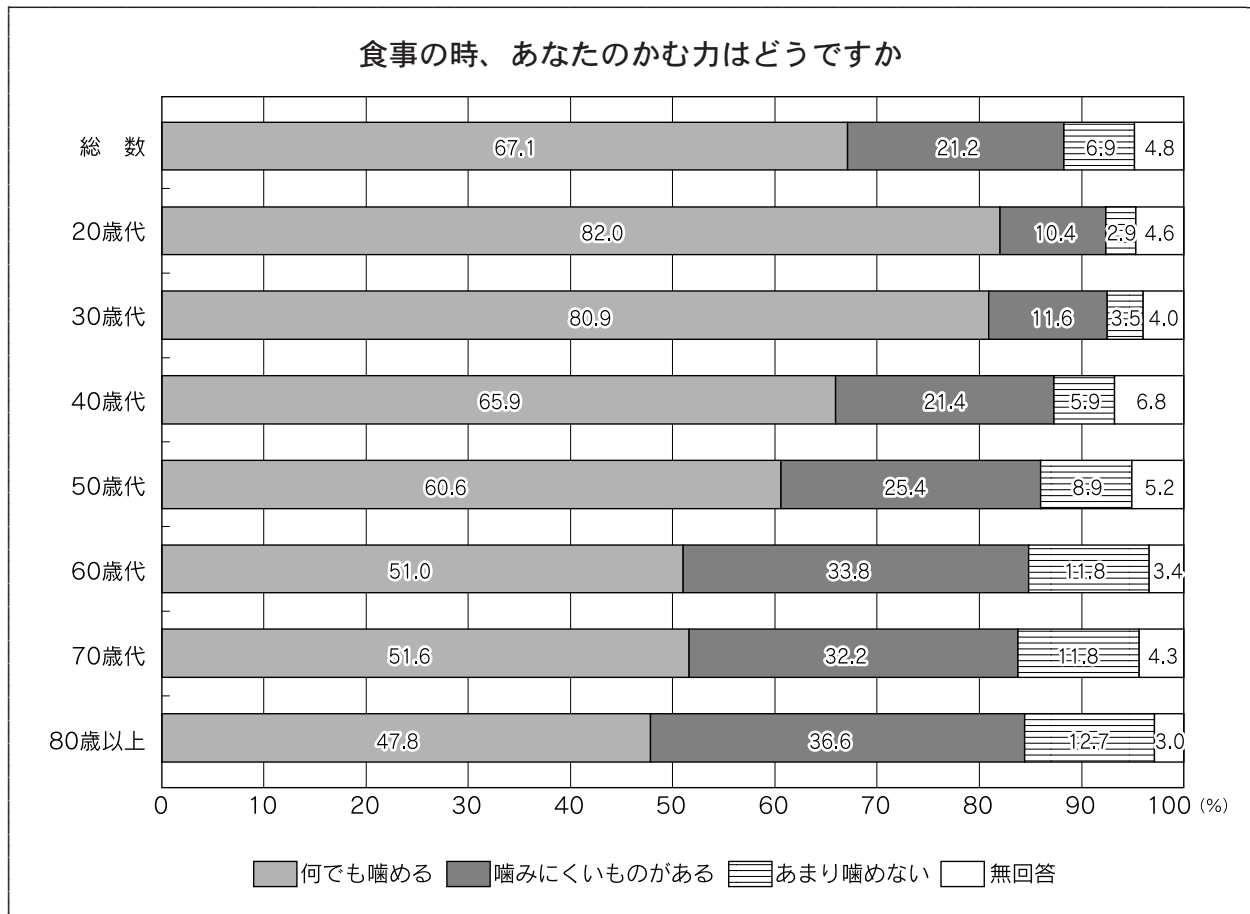


高齢者に対する歯科対策 (複数回答) (単位：%)

	総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
老人保健施設等 歯科健診	48.2	58.1	58.4	50.7	49.8	37.3	27.6	23.9
嚥下訓練	9.7	14.3	12.9	8.0	4.9	8.4	7.9	6.7
健康教育他	38.9	45.6	44.1	35.0	37.7	42.2	28.0	30.6
歯科診療	35.1	45.9	40.8	41.3	33.0	27.8	14.8	11.9
その他	1.0	1.2	0.2	0.4	1.2	2.3	2.3	0.7

## 5. あなたのかむ力について

若年齢者に、症状を訴える者が多い傾向にある。性別で比較すると男性より女性の方が、症状を訴える者が多い。その理由としては、女性の方が、筋肉の緊張やストレスに対して感受性が高く痛みに敏感であることが考えられる。また、高齢になるにつれ、症状が減少するのは、慢性症状に慣れてくることが考えられる。



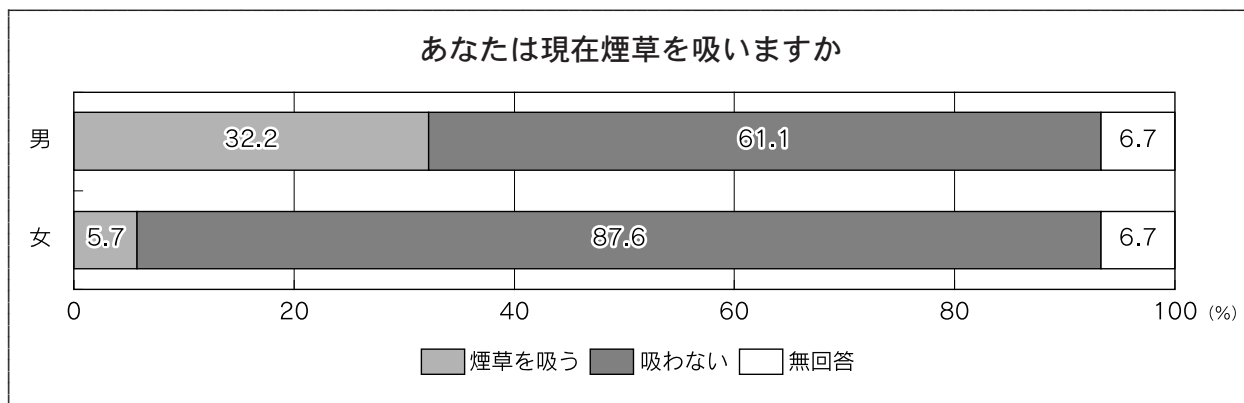
### あごの関節の状態について（複数回答）

（単位：％）

	総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
開閉口時に音がする	13.4	22.2	18.7	12.5	10.1	5.3	6.6	3.0
食事のとき痛み	2.7	1.9	1.3	2.5	2.0	1.9	5.3	9.0
口が開きにくい	3.1	4.2	5.2	3.8	1.2	0.8	2.6	0.0
特になし	76.8	70.7	70.9	77.5	81.8	85.2	79.6	82.8

## 6. 喫煙について（20歳以上）

男性の喫煙率は、32.2%で女性は、5.7%であった。また、女性の若年層の喫煙率が高い率を示している。



(単位：%)

	男	女
煙草を吸う	32.2	5.7
吸わない	61.1	87.6
無回答	6.7	6.7

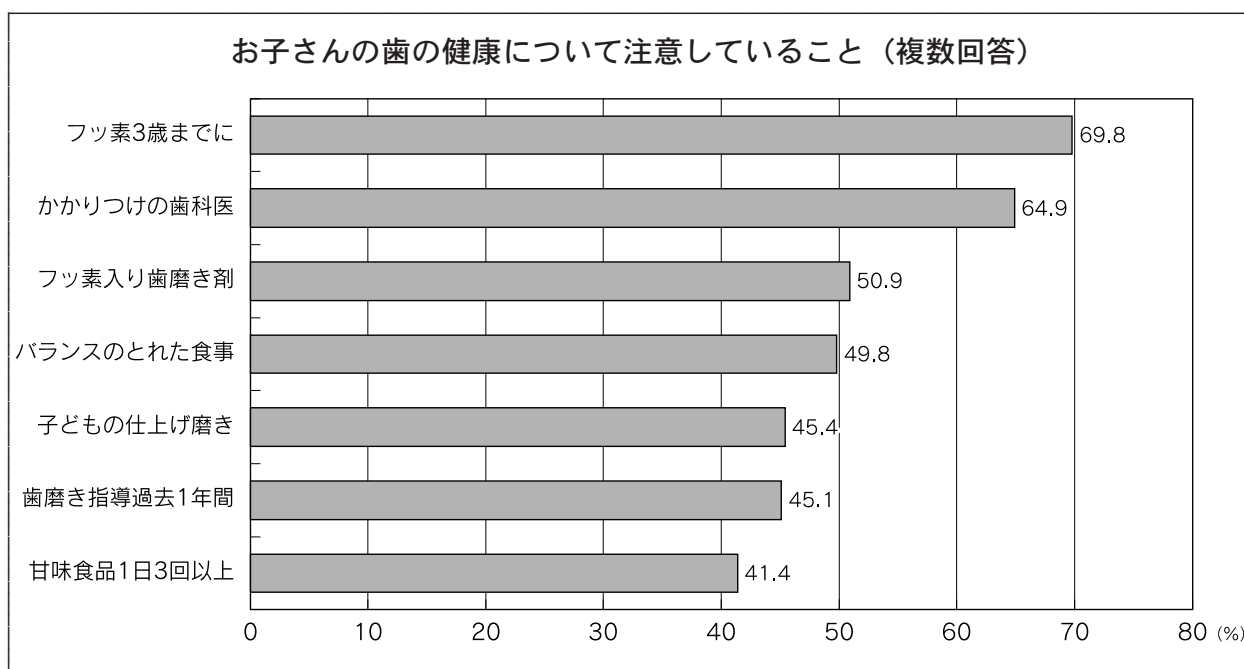
1日あたり平均喫煙本数

	男	女
煙草 (本)	19.2	12.8

## 7. 家族に保育園・幼稚園児、小・中学校がおられる方にお尋ねします（複数解答）

(単位：%)

	総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
子どもの仕上げ磨き	45.4	7.4	22.5	10.6	1.6	1.7	1.0	0.6
フッ素3歳までに	69.8	5.5	26.4	30.3	2.8	2.8	1.5	0.6
フッ素入り歯磨き剤	50.9	3.0	18.9	21.2	2.9	2.3	2.0	0.6
甘味食品1日3回以上	41.4	4.2	13.9	17.6	2.5	1.6	1.0	0.6
バランスのとれた食事	49.8	4.2	19.3	20.5	1.9	2.0	1.3	0.6
かかりつけの歯科医	64.9	2.9	21.5	30.0	4.4	2.9	2.3	0.9
歯磨き指導過去1年間	45.1	3.3	19.0	18.0	1.7	1.9	1.0	0.1



## 8. 歯科疾患実態調査とアンケート調査結果との関連について

### 1) 歯みがき時間と歯肉の状況について（割合）

歯磨き時間が3分以上の者は、所見なしが33.1%で最も高い率を示している。

歯磨き時間が長いほど歯肉の状態はよいと考えられる。

男性 (単位：%)

	コード0	コード1	コード2	コード3	コード4	対象歯なし	未記入
1分以内	16.5	10.4	35.0	23.8	5.0	6.2	3.1
1～3分以内	21.5	11.8	37.2	21.5	4.8	1.7	1.7
3分以上	30.2	10.0	30.2	18.9	8.6	1.0	1.0
無回答	11.1	0.0	50.0	16.7	5.6	11.1	5.6
総数	22.3	11.1	35.5	21.3	5.6	2.4	1.8

女性 (単位：%)

	コード0	コード1	コード2	コード3	コード4	対象歯なし	未記入
1分以内	20.4	8.5	26.9	23.1	5.4	9.2	6.5
1～3分以内	36.7	12.0	25.9	17.4	3.0	2.8	2.2
3分以上	36.8	14.3	23.4	14.3	6.9	2.6	1.7
無回答	11.8	5.9	23.5	17.6	0.0	29.4	11.8
総数	33.0	11.6	25.6	18.0	4.2	4.4	3.2

全体 (単位：%)

	コード0	コード1	コード2	コード3	コード4	対象歯なし	未記入
1分以内	18.5	9.4	31.0	23.5	5.2	7.7	4.8
1～3分以内	28.4	11.9	32.0	19.6	4.0	2.2	1.9
3分以上	33.1	11.8	27.3	16.9	7.9	1.7	1.3
無回答	11.4	2.9	37.1	17.1	2.9	20.0	8.6
総数	27.2	11.3	31.0	19.8	4.9	3.3	2.4

### 2) 歯みがき時間と1人平均DMF歯数について

歯みがき時間が、長いほど現在歯数が多い。歯みがきは、ていねいに時間をかけて磨くことが有効と言える。

男性 (単位：本)

	総数(人数)	現在歯数	健全歯	処置歯(F)	未処置(D)	喪失歯(M)
1分以内	260	23.0	12.9	8.8	1.3	6.0
1～3分以内	904	26.1	14.8	10.0	1.3	2.9
3分以上	301	26.3	15.2	10.1	1.0	2.7
無回答	18	19.6	10.5	7.8	1.3	8.6
総数	1483	25.5	14.5	9.8	1.3	3.5

女性 (単位：本)

	総数(人数)	現在歯数	健全歯	処置歯(F)	未処置(D)	喪失歯(M)
1分以内	260	19.1	8.9	9.5	0.8	9.3
1～3分以内	760	24.5	12.4	11.1	1.0	4.1
3分以上	231	24.5	12.8	10.9	0.8	4.0
無回答	17	14.5	8.5	4.9	1.0	14.0
総数	1268	23.3	11.7	10.7	0.9	5.3

全体 (単位：本)

	総数(人数)	現在歯数	健全歯	処置歯(F)	未処置(D)	喪失歯(M)
1分以内	520	21.1	10.9	9.1	1.1	7.7
1～3分以内	1664	25.4	13.7	10.5	1.2	3.5
3分以上	532	25.5	14.1	10.5	0.9	3.3
無回答	35	17.1	9.5	6.4	1.2	11.2
総数	2751	24.5	13.2	10.2	1.1	4.3

※ D：現在ある未処置歯 M：抜いた歯 F：治療した歯



### 3) かむ力とDMF 歯数について

何でも噛める者は、現在歯数が多い。

男性

(単位：本)

	総数(人数)	現在歯数	健全歯	処置歯(F)	未処置(D)	喪失歯(M)
何でも噛める	1,000	27.0	16.1	9.8	1.1	2.1
あまり噛めない	105	20.4	9.4	8.9	2.0	8.3
噛みにくいものがある	291	22.1	10.5	10.0	1.6	6.8
無回答	87	26.1	14.8	10.0	1.2	2.9
合計	1,483	25.5	14.5	9.8	1.3	3.5

女性

(単位：本)

	総数(人数)	現在歯数	健全歯	処置歯(F)	未処置(D)	喪失歯(M)
何でも噛める	852	24.9	13.4	10.7	0.8	3.7
あまり噛めない	82	16.4	6.1	9.8	0.5	12.1
噛みにくいものがある	290	20.1	8.3	10.5	1.3	8.2
無回答	44	24.8	12.0	12.0	0.9	3.9
合計	1,268	23.3	11.7	10.7	0.9	5.3

全体

(単位：本)

	総数(人数)	現在歯数	健全歯	処置歯(F)	未処置(D)	喪失歯(M)
何でも噛める	1,852	26.0	14.9	10.2	1.0	2.8
あまり噛めない	187	18.6	8.0	9.3	1.3	10.0
噛みにくいものがある	581	21.1	9.4	10.3	1.4	7.5
無回答	131	25.7	13.9	10.7	1.1	3.2
合計	2,751	24.5	13.2	10.2	1.1	4.3

### 4) 喫煙と歯肉の状況について (割合)：20歳以上

男性は、歯肉所見なしに煙草を吸う者と吸わない者とは、2.8ポイントの有意差が見られた。これは、男性の喫煙者が、32.2%で女性が5.7%であることから、喫煙率が高いほど歯肉炎にかかりやすいと考えられる。

男性

(単位：%)

	コード0	コード1	コード2	コード3	コード4	対象歯なし	未記入
煙草を吸う	9.6	45.3	20.4	4.5	15.5	3.0	1.7
煙草を吸わない	12.4	31.8	20.6	5.8	25.4	2.2	1.6
無回答	4.1	21.4	34.7	10.2	22.4	2.0	5.1
合計	11.0	35.5	21.5	5.7	22.1	2.5	1.8

女性

(単位：%)

	コード0	コード1	コード2	コード3	コード4	対象歯なし	未記入
煙草を吸う	11.3	33.8	23.9	2.8	26.8	1.4	0.0
煙草を吸わない	11.5	25.2	17.2	4.3	34.2	4.8	2.8
無回答	9.6	24.1	25.3	4.8	21.7	3.6	10.8
合計	11.3	25.6	18.2	4.3	33.0	4.5	3.1

全体

(単位：%)

	コード0	コード1	コード2	コード3	コード4	対象歯なし	未記入
煙草を吸う	9.8	43.8	20.9	4.3	17.0	2.8	1.5
煙草を吸わない	11.9	28.2	18.8	5.0	30.3	3.6	2.2
無回答	6.6	22.7	30.4	7.7	22.1	2.8	7.7
合計	11.1	31.0	20.0	5.0	27.1	3.4	2.4

## 参 考

### 数値等の算出法について

本調査の結果に示した主な数値等は次の方法により算出した。

#### 1. う蝕有病者率

$$1) \text{う蝕有病者率}(\%) = \frac{\text{う蝕のある者の数}}{\text{被調査者数}} \times 100$$

(注) う蝕のある者の数：未処置歯、処置歯のいずれかを1本以上有する者の数

被調査者数：調査を受けた者で、う蝕のない者、う蝕のある者、歯のない者の総数

#### 2. 1人平均現在歯数

$$1) \text{1人平均現在歯数(本)} = \frac{\text{現在歯数}}{\text{被調査者数}}$$

(注) 現在歯数：健全歯、未処置歯、処置歯数の総数

被調査者数：前記1)と同じ

#### 3. 1人平均df歯数（dft指数）およびDMF歯数（DMFT指数）

$$1) \text{DMFT指数} = \frac{\text{う歯数} + \text{喪失歯}}{\text{被調査者数}}$$

(注) う歯数：未処置歯、処置歯の総数

喪失歯数：喪失歯の総数

被調査者数：前記1)と同じ

#### 4. 喪失歯所有者率および1人平均喪失歯数

$$1) \text{喪失歯所有者率}(\%) = \frac{\text{喪失歯のある者の数}}{\text{被調査者数}} \times 100$$

(注) 喪失歯のある者の数：喪失歯を1本以上有する者の数

被調査者数：前記1)と同じ

$$2) \text{1人平均喪失歯数(本)} = \frac{\text{喪失歯数}}{\text{被調査者数}}$$

(注) 喪失歯数：前項3)と同じ

被調査者数：前記1)と同じ

#### 5. 歯肉の有所見者率

$$1) \text{歯肉の有所見者率}(\%) = \frac{\text{歯肉に所見のある者の数}}{\text{被調査者数}} \times 100$$

(注) 被調査者数：前記1)と同じ

# お わ り に

本県においては、平成7年と12年の5年毎に県民歯科疾患実態調査としてアンケート調査と共に過去2回行われてきた。今後の歯科保健医療対策推進のための基礎資料として、又平成13年に設定された「健康とっとり計画」の中間評価を目的として、今回平成17年度においても同様に実施された。

本調査結果は以前より展開してきた8020運動が若干ではあるが、回数を重ねる毎に成果をあげている事は判明した。しかし残念ながら依然として過去の調査と同様に60歳代で残存歯が20本を下回っているという現実の把握ともなってしまう、更なる努力を要することが示された。

歯周病の状況においては60歳までは減少傾向があるものの、70歳代以降については残存歯数増加のためか、増加傾向がみられた。

残存歯数と歯周疾患のコントロールは8020達成のためのキーポイントとなるので、この世代への取り組みが重要となる。

アンケート結果からも多くの問題が示唆され、改善や対応を考えさせられた。約60%の人がかかりつけ歯科医を決めているにもかかわらず、全調査者の約3割の人が、あまり噛めないとか、噛みにくいという症状を訴え、また約7割の人が歯や口について悩みを持っているとの結果であった。

口腔疾患でも顕著な疼痛を伴わない疾患は、症状があっても現実の多忙な生活の中で放置されてしまう結果に陥ることが判明したとも言える。

日本は世界的な長寿国ではあるが、その寿命とそれに至るまでの健康寿命とでは数年の開きがあるのが実状である。つまり健康状態から、寝たきりのような状態で数年を過ごすことで長寿という現状が支えられているのだ。この数年間をもっと短期間にするためには、つまり健康寿命を延ばし寿命に限りなく近づけるためには口と歯の健康が掛け替えのない条件である。

豊かな長寿社会達成のための努力目標として、高齢者の割合が高いわが県は子供達のう蝕を予防し、その子供達が成人期には歯周病の予防を備える力を身に付け、そして高齢者になれば歯と口の健康を維持することで体の健康を保てる——そんな歯科健康保健対策が推進できる事が望まれるところである。

「健康とっとり計画」の中の重要課題としても、全身に大きな影響を与えることが認識されている口腔疾患に対して、このような継続的な県民歯科疾患実態調査が実施される意義は大きいものがあると、この調査結果を前にして痛感させられた。

最後にこの調査を実施するにあたり、多大なご支援、ご協力を頂いた関係者の方々に深く感謝しますとともに、データ集計作業にご協力頂いた鳥取短期大学野津あきこ先生にお礼を申し上げます。

— 編 集 —

社団法人鳥取県歯科医師会公衆衛生委員会  
鳥取県福祉保健部健康対策課